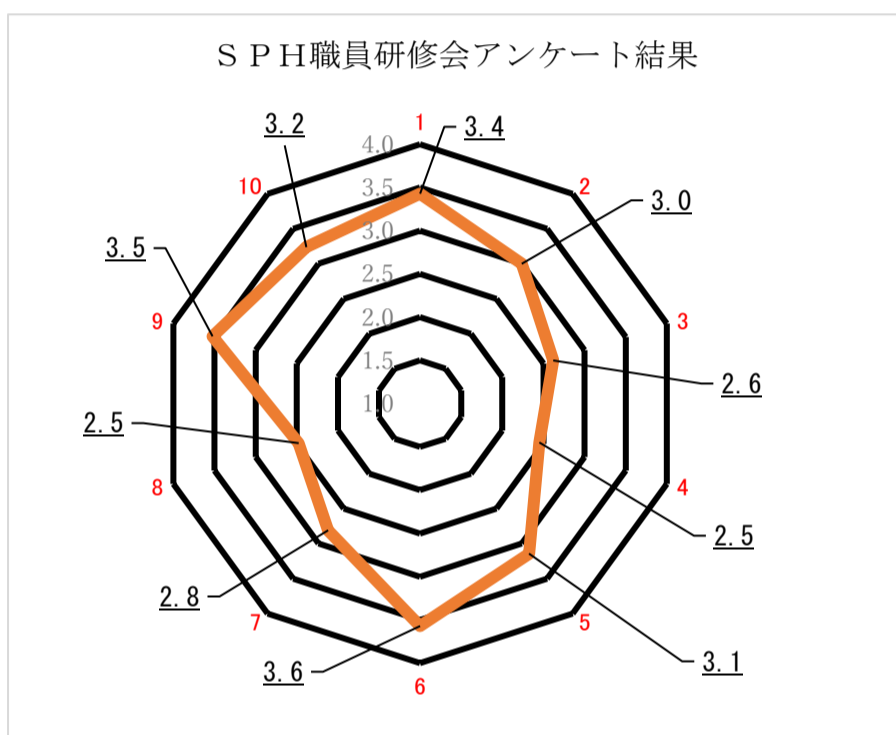




教職員向けSPH研修会を行いました。

平成29年12月26日(火)13:30~15:30、会議室において教職員31名が参加し、スポーツトレーナーの山崎潤様を講師に招き、1年生が「総合的な学習の時間」で取り組んでいる「オープンウィンドウ64」の理解を深める目的で研修を行いました。説明の中で「心が強くなる時は、難しいことを達成したときではなく、決めたことをやり続けたとき」という言葉が印象的でした。研修終了後にアンケート調査した結果を報告します。



評価は4段階で回答し、よくあてはまる「4」～全くあてはまらない「1」とした。

No.	評価内容	評価
1	「夢・目標達成シート」は、思考を広げるための便利な道具だと思った。	3.4
2	「夢・目標達成シート」を生徒に教える手順が分かり、指導方法がイメージできた。	3.0
3	「夢・目標達成シート」を今後、担当する授業で活用ができると思った、また、したいと思った。	2.6
4	「夢・目標達成シート」をクラブ活動で活用したいと思った。	2.5
5	「夢・目標達成シート」を自分でも試してみようと思った。	3.1
6	「夢・目標達成シート」をもっと深く知りたいと思った。	3.6
7	「夢・目標達成シート」を誰かに紹介したいと思った。	2.8
8	S P H研究開発事業に関する意識が高まった。	2.5
9	今回の研修は有意義なものだった。	3.5
10	このような研修会は、今後も開催した方がよいと思った。	3.2

「今回の研修は有意義なものだった」、「夢・目標達成シートは思考を広げるための便利な道具だと思った」、「もっと深く知りたいと思った」という意見が多く集まりました。

【意見と感想の自由記述】

- 64のウィンドウを埋めるのは大変だと感じた、教員側が十分理解しないと生徒を指導して行くのは難しいと感じた。
- 早速授業でやってみます！
- スポーツや目標のはっきりする分野では有効なツールだが、目標設定の難しい生徒の多い学校では難しい。その方策を知りたい。



研修会の様子

【講師 山本潤様より助言】

1年生が使用している「学び方ガイドブック」は、素晴らしい取り組みである。高校生が取り組みやすいように一層、工夫改善していけば、必ず良い結果が得られると思います。



プロ野球の大谷 翔平選手を例に説明